

「重点支援地方交付金」事業計画書

No.	事業名称（仮称）	事業区分	事業内容等	対象者等	事業開始期（予定）	事業終期	総事業費	重点交付金	一般財源	担当課
1	平田村食料品価格高騰対策商品券発行緊急支援事業	①食料品の物価高騰に対する特別加算 ④消費下支え等を通じた生活者支援	村内各事業所等で利用可能な商品券を発行し、村民の生活支援と経済活動の回復を図る。「商品券発行事業（第7弾）」「基準日：令和7年12月1日」 <u>(事業費：78,810千円)</u> ・商品券 村民（一人当り）15,000円×5,254人=78,810,000円 <u>(事務費：2,715千円)</u> ・消耗品費 60,000円 ・委託料 1,500,000円 ・郵便料 550円×2,100世帯=1,155,000円	全村民	R7.12.24	R8.3.31	81,525千円	80,000千円	1,525千円	企画商工課 (7.1.1)
2	平田村エネルギー価格高騰対策事業者緊急支援事業	⑥中小企業・小規模事業者の貸上げ環境整備 ⑨中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援	エネルギー価格高騰により、更なる経済的な影響を受けている中小企業等の支援と賃金引き上げの一助とするため支援金を支給する。 <u>(事業費：16,600千円)</u> ・基本額（一事業所）20,000円×180事業所= 3,600,000円 ・従業員（一人当り）10,000円×1,300人 = 13,000,000円 <u>(事務費：40千円)</u> ・郵便料 110円×180事業所×2回 = 39,600円	村内に事業所を有する中小企業者等	R7.12.24	R8.3.31	16,640千円	15,500千円	1,140千円	企画商工課 (7.1.1)
3	平田村畜産飼料高騰対策事業	⑧農林水産省業における物価高騰対策支援	畜産飼料高騰の影響を受けている畜産農家に対して、購入飼料代の一部支援を行い、安定した農業経営基盤の構築を図る。 (算出根拠) 繁殖牛1頭当たりの年間飼料消費量 ・3kg/日×365日=1,095kg ※肥育牛、乳用牛は繁殖牛の3倍の消費量 ※繁殖豚は繁殖牛の8割程度の消費量 1頭あたりの交付単価 ・R3.10～12月飼料代 71,520円/t ・R7.10～12月飼料代 82,160円/t ・10,640円（差額）×1/4=2,660円 ・端数処理で2,000円 <u>(事業費：4,850千円)</u> 繁殖牛：2,000円（一頭当たり）×790頭=1,580,000円 肥育牛：6,000円（一頭当たり）×290頭=1,740,000円 乳用牛：6,000円（一頭当たり）×215頭=1,290,000円 繁殖豚：1,600円（一頭当たり）×150頭= 240,000円 合 計：4,850,000円 <u>(事務費：44千円)</u> 郵便代 110円×100件×4=44,000円（送付・返信）	村内で畜産業を営む農業者	R7.12.24	R8.3.31	4,894千円	4,600千円	294千円	産業建設課 (6.1.4)
4	平田村こども園給食食材高騰対策支援事業	③物価高騰に伴う子育て世帯支援	物価高騰により影響を受けているこども園の給食において、高騰分の賄材料費に重点支援地方創生臨時交付金を充当する。 (算出根拠) R3給食単価：306円 R7給食単価：355円 高騰分：49円 <u>(事業費：1,403千円)</u> 【1号児】5人×202日（日数）×49円=49,490円 【2.3号児】116人×238日（日数）×49円=1,352,792円 【合計】1,402,282円	村（園児の保護者等）	R7.4.1	R8.3.31	1,403千円	1,300千円	103千円	教育課 (こども園3.2.3)

「重点支援地方交付金」事業計画書

No.	事業名称（仮称）	事業区分	事業内容等	対象者等	事業開始期（予定）	事業終期	総事業費	重点交付金	一般財源	担当課
5	平田村小中学校スクールバス運行 業務価格高騰対策支援事業	⑩地域公共交通・物流や地域観光業等に対する支援	<p>小中学校スクールバスの運行において、公共調達における労務費・物価高騰分を含めた契約単価の引上げによる価格転嫁に対して重点支援地方創生臨時交付金を充当する。</p> <p><u>(事業費：18,940千円)</u></p> <p>【小学校】 小学校1日運行単価 上段：R6、中段：R7、下段：差額 ①35,000円 ②39,000円 ③42,000円 ④35,000円 ⑤35,000円 ①44,000円 ②48,500円 ③45,000円 ④44,000円 ⑤44,000円 ①9,000円 ②9,500円 ③3,000円 ④9,000円 ⑤9,000円 小学校年間運行回数：約200日 $(9,000+9,500+3,000+9,000+9,000) \times 200\text{日} = 7,900,000\text{円}$</p> <p>【中学校】 中学校1日運行単価 上段：R6、中段：R7、下段：差額 ①40,000円 ②40,000円 ③34,000円 ④46,000円 ①53,000円 ②50,000円 ③47,000円 ④58,000円 ①13,000円 ②10,000円 ③13,000円 ④12,000円 中学校年間運行回数：約230日 $(13,000+10,000+13,000+12,000) \times 230\text{日} = 11,040,000\text{円}$</p>	村 (スクールバス運行事業者)	R7.4.1	R8.3.31	18,940千円	17,500千円	1,440千円	教育課 (10.2.1: 7,300千円) (10.3.1: 10,200千円)
6	平田村中学校修学旅行費用支援事業	③物価高騰に伴う子育て世帯支援	<p>物価高騰により影響を受けている家計の教育費（修学旅行費）を支援し、経済的な負担の軽減を図る。</p> <p><u>(事業費：540千円)</u></p> <p>R7修学旅行費実績57,500円（自己負担60,000円） R8修学旅行費見込70,200円（3年生：54人） 一人あたり負担額70,000円を上限とし、例年の自己負担額（60,000円）を超える金額を助成 70,200円-60,000円=10,200円≈10,000円 $54\text{人} \times 10,000\text{円} = 540,000\text{円}$</p>	学校 (生徒の保護者等)	R8.3.1	R8.3.31	540千円	400千円	140千円	教育課 (10.3.1)
7	平田村子育て世帯緊急支援事業	③物価高騰に伴う子育て世帯支援	<p>子育て世帯を対象とした、エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減するため支援金を支給する。</p> <p>(支援金) 一人当たり5,000円×636人=3,180,000円</p>	児童（0歳から18歳に達する日以後の最初の3月31日までにある児童）を養育している方。 ※支給対象者は物価高騰対応子育て応援手当に準拠するが、令和8年3月31日申請分までを対象とする。	R7.12.24	R8.3.31	3,180千円	2,976千円	204千円	健康福祉課 (3.2.8)
合 計							127,122千円	122,276千円	4,846千円	
配 分 額								122,276千円		